

区を対象とした合併を推進することだが、その規模及びスケジュールについてどのように考えているのかを伺いたい。

(答弁)

埼玉県市町村合併推進構想の中で、羽生市は五市九町の中核市の規模の組み合わせに含まれているが、現実的には多くの困難が伴うものと想定する。またこの構想中、既に利根南部都市圏の合併を考える会が発足している状況もある。こういった中、私はまず羽生市、加須市、騎西町、大利根町、北川辺町の利根北部地域で合併を進めて参りたいと考えている。そのスケジュールは、合併新法が平成二十二年三月三十一日までであることから、財政特例措置を鑑みた場合、これを一つの目安と考える。いずれにしても県の合併構想の推移を注視し、近隣市町と十分連絡調整を行いながら合併を検討していきたい。

落合信夫議員

(主な質問)

・当市は公債費比率などの財政指標が他の自治体と比較し思わしくない。なぜなのか。その要因をはっきりと確認することは財政再建を図る出発点となるものである。新市長にはそれが期待されていると確信するが見解を伺いたい。

(答弁)

・羽生市の財政危機の要因は、借金に依存した市政運営であると認識している。これは国の景気浮揚策に便乗した面もあるが、市民プラザや農林公園、スカイスポーツ公園、南羽生土地区画整理事業の整備など投資時期が集中した点にもあると考える。従って借金依存体質から脱却しなければ財政再建はないと考える。今後、毎年一、二億円程度を優先的に確保して繰上げ償還を行うこと、道路整備等の通常の起債発行は前年度以下に抑えるなど、財政指標を改善していきたい。そして財政健全化計画の策定の中で、職員定数の削減、事務事業の見直し、公共施設の配置計画、市税の確保対策、財産の計画的処分、受益者負担の見直しにも触れ、数値目標をできる

蜂須直巳議員

(主な質問)

だけ明記し、実行してゆく中で財政再建を果たしたい。

・羽生インターチェンジ周辺の整備について民間の開発手法を活用し行うとのことだが、この開発が滞っている状況をどのように認識しているのか。首長という立場での発言や行動には慎重さも必要と考えるがこの点について現在の市長の考えを伺う。

(答弁)

・羽生インターチェンジ前は、この地区が民間開発業者のいわゆる「地上げ」により、盛り土がされ雑草が生い茂っている所と、従来の田圃状態にあるところが入り組んだ状態になっていることは十分認識している。地権者を二分する問題に発展した後、地元地権者の合意形成にめどが立っているわけではない事も承知しているが、この状況をこれ以上放置することは、地権者にとつても、羽生市全体にとつても望ましい状況とはいえない。市長として「何とかしな

高橋督儀議員

(主な質問)

ければ」という思いから所信表明に盛り込んだものである。私としては民間による開発手法や部分的な開発の是非も含め、あらゆる可能性を探り、現状の打開を図っていきたいと考えている。

・イオンモールの進出と商店街の共存発展対策、また中心市街地の空洞化、シャッター通り化した商店街の商業の振興、中心市街地の賑わい創出に関して、新市長の具体的構想を問う。

(答弁)

・イオンの羽生出店は、市民の買い物の利便性向上はもとより、市の魅力アップや人口増対策として大きな役割を果たすと考えている。イオンモールはいわゆる「買回り品」の購入が中心であるのに対して、食料品や「身の回り品」はこれまでどおり地域の近隣商店街が中心になると思われる。このため棲み分けも可能と考えている。

中心市街地の活性化は、羽

戸田競艇場

県内十六市で構成する都市競艇組合の収益金の一部は、毎年各市に配分され、市民の皆様の暮らしに役立っています。羽生市では、昨年五千万円の配分金を受けています。

生駒西口に続き、東口の基盤整備についても検討を進めたい。また空き店舗対策に重点をおき、価格・面積・場所・環境など空き店舗情報をホームページで市の内外に知らせていきたい。そして各商店街が魅力ある店舗づくりや個性化、差別化が図れるよう市として支援しながら、親しみの持てる商店街を目指し、中心市街地の活性化につなげてまいりたい。

十月の開催日

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
都市競艇(28日~3日)					都市競艇	
8	9	10	11	12	13	14
都市競艇				戸田競艇		
15	16	17	18	19	20	21
戸田競艇						
22	23	24	25	26	27	28
SG第53回全日本選手権競艇(福岡)						
29	30	31				
戸田競艇(31日~5日)						